

教員氏名：松本 隆太郎（教育学科・スポーツ教育専攻／准教授）

1. 教育の責任（何をやっているか）

教育学部教育学科・スポーツ教育専攻に所属し、「体育実技Ⅴ（柔道）」「体育実技Ⅶ（レスリング）」「生涯スポーツⅡ（スキー）」をはじめ、「トレーニング論」「生活習慣病と身体活動」「健康体験実習」「健康実践演習」などを担当している。また、「教育学研究法Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」でゼミを担当し、研究指導を行っている。分掌では学生支援委員会、実習委員会、スポーツ推進室に所属し、学生生活や教育実習を支援している。さらにレスリング部男子監督として学生を指導し、リクルート活動も行っている。加えて2028年ロサンゼルスオリンピックに向けたグレコローマンスタイル強化委員長として全日本チームを率い、金メダル獲得を目指している。

2. 教育の理念（なぜやっているか）

専門はトレーニング学・健康科学であり、競技力向上や健康増進を科学的に支える教育を行っている。知識や技術の習得に加え、自ら考え課題を解決する力の育成を重視している。また、人として成長し、社会に出て信頼される人材を育てることを教育の根幹としている。

3. 教育の方法（どのようにやっているか）

講義では時事的な話題や自身の経験を交え、理解を深め興味を持てるよう工夫している。実技科目では安全に配慮し、段階的な指導で達成感を得られるよう努めている。ゼミでは一方的に与えるのではなく、学生の考えに応じて対話を重ねながら研究を進めさせている。

4. 教育の成果（行った結果どうだったか）

授業評価では「卒業研究の準備に役立った」「世界での経験が分かりやすかった」といった意見が多い。実技科目では苦手意識を克服し技能を習得できたという声もある。

また、育英大学レスリング部男子監督としての指導においては、全国大会で顕著な成果を挙げている。

- ・全日本学生選手権：フリースタイル・グレコローマンスタイル合わせて7階級で優勝
- ・全日本大学グレコローマン選手権：就任4年目で団体優勝

これらの戦績は学生の競技力向上だけでなく、規律や協調性の育成にもつながっている。さらに、全日本チーム強化活動で得た知見を授業に還元し、学生の学習意欲を高めている。

5. 教育における今後の目標（これからどうするのか）

授業やゼミを「受けてよかった」と思えるものにし、社会に出る準備を整えられるよう指導していく。また、競技指導と大学教育を結びつけ、学問と競技力向上の両面から人材育成を進めていきたい。

【添付資料】 ※全部又は一部の現物を省略しています。

（2025年9月20日現在）